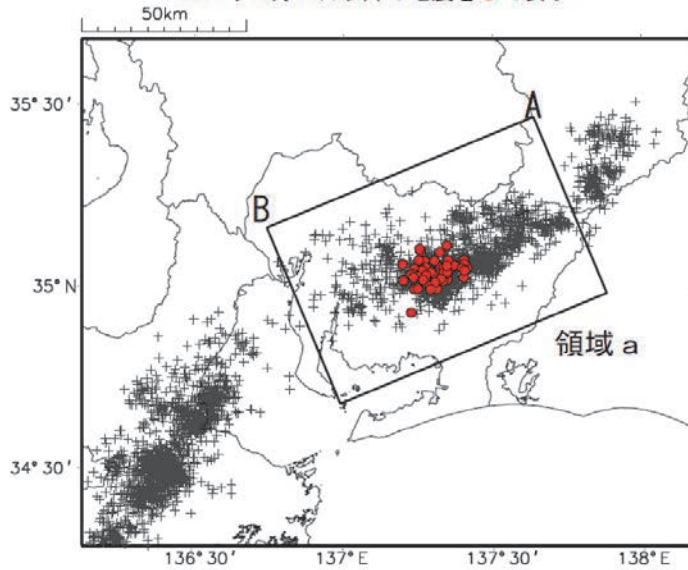


10 月 16 日からの愛知県西部の深部低周波地震活動

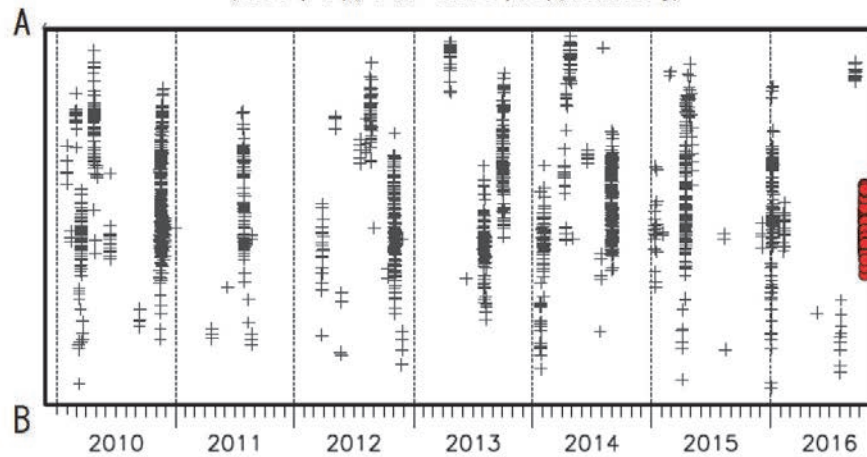
深部低周波地震の震央分布図
 (2010年1月1日～2016年10月18日07時)
 2016年10月16日以降の地震を●で表示



2016年10月16日以降、愛知県西部を震央とする深部低周波地震を観測している。この活動に同期して、周辺のひずみ計にも変化が現れている。

今回の活動領域の周辺では、たびたび深部低周波地震のまとまった活動が発生している。今回の震央周辺でのまとまった活動は、2016年1月以来である。

領域a内の時空間分布図 (A-B投影)
 (2010年1月1日～2016年10月18日07時)



(2016年10月15日～10月18日07時)

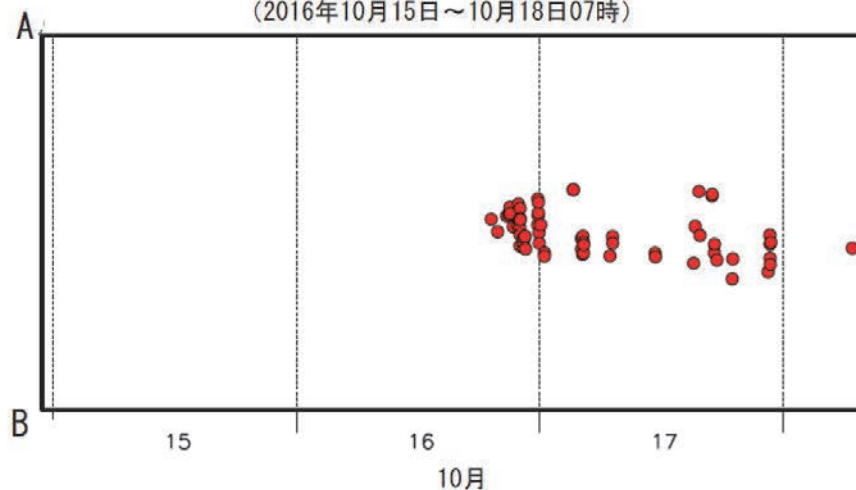


図 5 愛知県西部の深部低周波地震活動状況

気象庁作成

ひずみ変化を説明しうる断層モデル候補

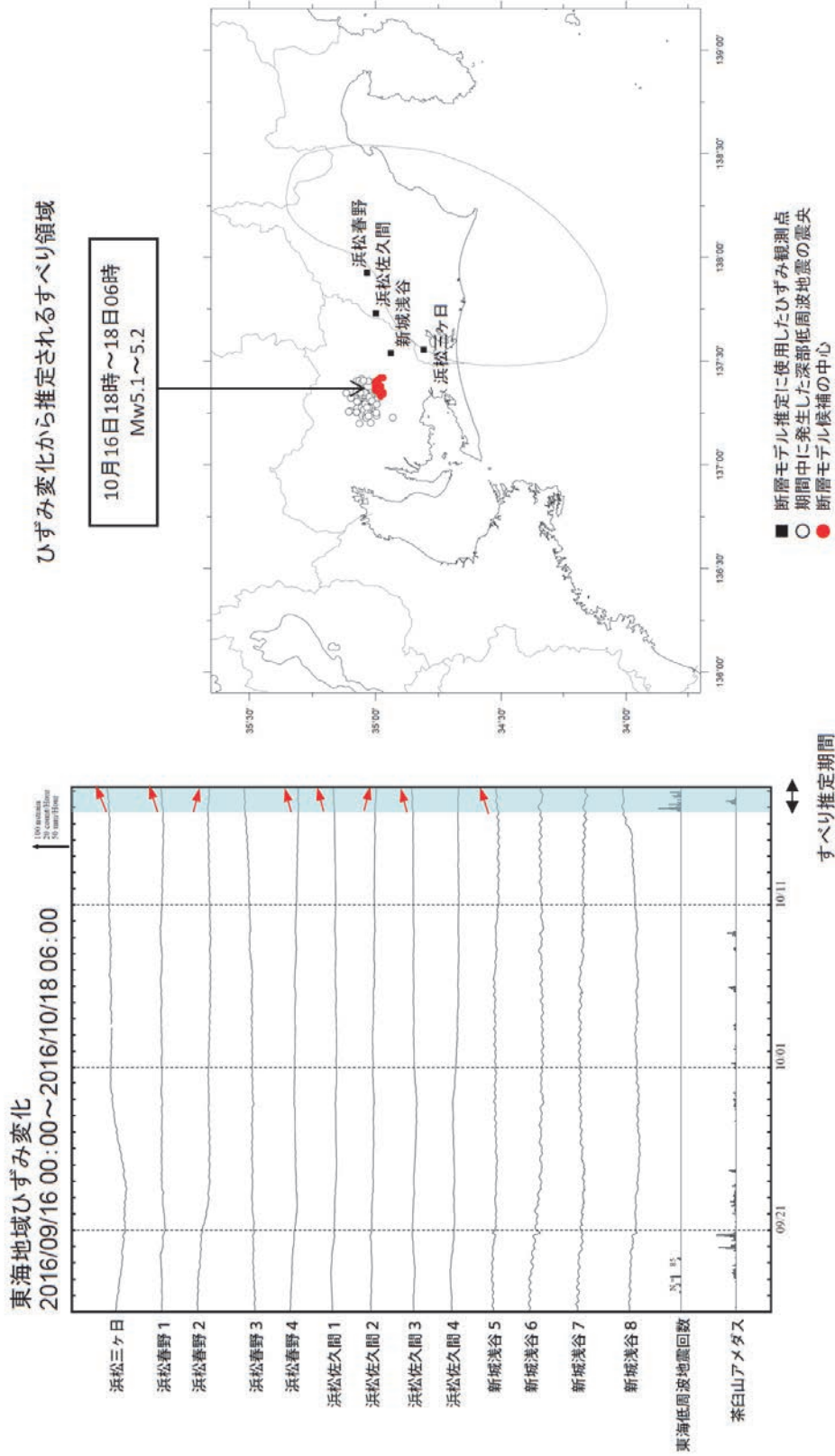


図 6 ひずみ変化を説明しうる断層モデル候補

すべり候補領域は、中村・竹中(2004)¹⁾によるグリッドサーチの手法※により求めた。プレート境界と断層面の形状はHirose et al.(2008)²⁾による。

※ すべり候補領域の位置とその規模(Mw)を、すべりがプレート境界面上でプレートの沈み込み方向と反対に発生したと仮定し、考え得る全ての解を前提として得られる理論値と観測値を比較し、合致するものを抽出する手法

1) 中村浩二・竹中潤, 東海地方のプレート間すべり推定ツールの開発, 地震時報, 68, 25-35, 2004
 2) Hirose F., J. Nakajima, A. Hasegawa, Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B08315, doi:10.1029/2007.JB005274, 2008